

令和7年度 第1回和泉市男女共同参画審議会の振り返りについて

※当日配布しました「資料2-1 事前意見書に対する回答」・「資料2-2 策定方針に関する意見」については、記載しておりません。

NO	委員意見・質問等	回答	その後の進捗等
1	資料1、1ページの「和泉市におけるこれまでの取り組み」で、第3期和泉市男女共同参画行動計画（オアシスプラン）及び和泉市配偶者等からの暴力防止及び被害者の支援に関する基本計画（DV防止基本計画）だけが期間が長いのはなぜか。	国・府の計画が新たに策定されたこと及び社会情勢の変化を踏まえ、和泉市では、令和元年度に計画の見直しを行ったため、12年の計画期間とした。	
2	資料の中で「市民意識」という言葉が強調されている。実態を踏まえた上で、その意識の現状をどう考えるかが必要。 また、和泉市ではこれまでも取り組んできている中で地域的な課題は一定把握されているものと思っている。今一度市としての政策的な実践を振り返り、整理する必要があるのではないか。そうしないと独自の展開というのは具体的に想定できないと思う。 調査をするのであれば、国勢調査など市としての基本的な市民のデータはあると思うのでそれを踏まえて新たに調査をするという形で設定すればよいのではないかな。	市民意識調査では、市（市民）の実態がわかる質問項目を設定したいと考えている。 実態を踏まえた課題の解決を図るための和泉市独自の成果目標や数値目標を設定する計画を策定したいと考えている。 従来、計画策定のための市民意識調査の質問項目については、審議会で意見をいただきながら、住民基本台帳でランダムに抽出した市民を対象者に調査するという方法で行っていましたが、今回の計画策定においては、各種統計データや他部署の調査結果を把握するなどし、調査対象や質問項目を考えたい。	前回和泉市で実施した市民意識調査の設問をベースに、質問項目の追加・修正を行い大阪府の市民意識調査との比較を可能にしました。和泉市と府の調査結果の比較により、和泉市の実態を把握する予定です。 また、他部署の市民調査の結果を踏まえ質問項目の追加・削除を行いました。

NO	委員意見・質問等	回答	その後の進捗等
3.	<p>具体的な実態調査が必要である。</p> <p>例えば、ハラスメントについては、経営者に聴く等が必要である。また、学校現場のことを市民に聴いても実態は把握できない。</p> <p>今までやってきた既存の調査をどのように生かすか考えつつ、この次の計画に結びつけるような質問項目を設定する、あるいはターゲットを絞る必要があるのではないか。</p>	<p>今回示した策定方針（案）に市民意識調査以外に、実態を把握の文言を追加する。</p> <p>また、各種統計データや他部署の調査結果を把握するなどし、調査対象や質問項目を考えたい。</p>	<p>民間企業を対象にした現況把握調査の実施に向け、対象企業の抽出方法、調査項目について検討中です。</p>
4	<p>困難女性支援法ができている中、計画を策定するなかでも複合的に問題を抱えている人（マイノリティの方）に対しては焦点を当てていただきたい。</p> <p>また、市議会議員等への意識調査や啓発もお願いしたい。</p>	<p>複合的な問題を抱えている方（マイノリティの方）の課題解決を図るために、縦割り行政的にならない、横串をさした計画を策定したいと考える。</p> <p>そのために住民との連携、また、自助共助公助の連携のもとに、本計画の実施があるということを、策定方針の見直しのポイントに加えていきたいと考える。</p>	
5	<p>事業者選定について、全く経験も知識もなくこの種の調査で何が重要なかわかっていない業者もいるので安だけで選考はしないほしい。</p>	<p>多様なエビデンスに基づく計画策定を前提条件とした、事業者募集を行っていきたい。</p>	<p>審議会でご意見いただいた内容を踏まえた策定方針を基に募集要項・仕様書を作成し、人口規模 10 万人以上の地方自治体での市民意識調査及び計画策定の実績があることを条件として、公募型指名競争入札にて事業者を選定しました。</p>